気っ風のいい情報を発信

KITA ISHIKARI PUBLICATION

1
JANUARY
2017 No.213

謹賀新年

【今年はとり年です】

JA北いしかり | 広報誌
http://www.ja-kitaishikari.or.jp

恭賀新年

会長理事
佐藤　彰

平成29年の初春をご健勝で迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。昨年中は、農協事業へご支援ご協力頂き、あらためて厚くお礼申し上げます。本年も、役職員が一致団結して、農協事業の推進を図ってまいりますので、組合員の皆様の更なるご支援を宜しくお願い申し上げます。

送りました平成28年は、4月に改正農協法が施行され、組織改革への取り組みが本格的にスタート致しました。10月にはJA全国大会が、11月には北海道大会が開催され、国民の理解と応援を基本に、組合員の総意による自己改革を進めてきたところであります。そのような状況にあるなか、突然に、規制改革推進会議からの提言が発表されました。提言の内容は、北海道農業に大きく影響が懸念されるもので、特に組勘（クミカン）制度の即時廃止は、あまりにも乱暴で農業者の意思に反するものでした。JAグループの総意で反論し運動してきた結果、提言修正がなされましたが、規制改革推進会議が見据えている「農協解体」が表面化したものと考えています。新自由主義を基本としたグローバル経済が行き詰まりを見せ始めている今こそ、相互扶助を基本理念とした農協運動を再構築していかなければなりません。そのためにも、農業者一人一人が自立と協調の考えを強く持ち、農協への更なる結集をお願いする次第です。

本年が組合員皆様にとりまして、実り豊かで幸多き一年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

会長理事	佐藤　彰
代表理事組合長	川村　義宏
専務理事	且見　英和
常務理事	小林　正美
管理金融委員長	野尻　博康
経済委員長	本屋路喜代史
経済委員長代行	本多　寿典
理事	伊豆原信一
理事	湯浅　秀樹
理事	清水　徳幸
理事	宮本　晃一
理事	小笠原英史
理事	滝本　弘
代表監事	藤澤　寛
常勤監事	松本　博美
監事	泉　吉満
参事	河村　重樹

謹賀新年

代表理事組合長
川村 義宏

新年明けましておめでとうございます。皆様が平成29年の新春を、健やかに迎えられました事に役職員一同心より御喜び申し上げます。また旧年中は農協事業に深いご理解ご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。

昨年は春先の低温・8月の台風・10月の雨など農業にとっては決して良い条件ではありませんでした。米については作況103のやや良との発表でしたが網下米が多くその実感がありませんでした。また麦についても雨などの影響により品質低下や病害の発生がありました。青果物・花についても単価は単価高に助けられましたが、満足のいく収量ではありませんでした。総じて厳しい1年でありました。全道他地区の農業者の皆様は甚大な被害を受けた地区もあり心よりお見舞いを申し上げます。

当農協も第7次中期計画、農業振興計画をスタートさせ11月には輪作体系推進とコントラクターの説明会を開催しました。また、当別地区厚田地区の道の駅開設に合わせてハウスの助成事業新規作物の種子助成などの新しい取り組みを始めたところです。このことが、皆様の営農そして北石狩農協の将来に繋がる事と信じております。

農協改革の名の下に農協の形を大幅に変えようとする動きがありますが一人では出来ない事を皆の力を合わせて解決していくその使命は変わることはありません。今一度協同の意味を深く理解し力を合わせて役職員一同組合員皆様の経済、生活、地域を守っていく覚悟です。組合員の皆様におかれましては、一層のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年が稔り多き年となることと、御家族を含めた皆様の御健勝を御祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせて頂きます。

金融共済部長　**荒関 淳一**
営農振興部長　**加来 剛**
生産販売部長　**青山 雅之**
購買部長　**奥村 勇二**
西当別支所長　**浜尾 和美**
厚田支所長　**長谷川 司**
北石狩農業協同組合青年部部長　**高田 裕輔**
北石狩農業協同組合女性部部長　**久慈 貞子**
他職員一同

あけましておめでとうございます

本年も昨年と変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます

本所事務所理容室　店主　**小池 暁**
扇谷歯科医院　院長　**扇谷 泰典**
他職員一同

喪中につき年頭の挨拶を失礼いたします

管理金融委員長代行　**加藤 博典**
理事　**藤田 靖**
監事　**笹 賢一**

新年を迎えて

北石狩農協青年部
部長　**高田　裕輔**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、昨年度は当青年部活動に対しまして、組合員の皆様とご家族、役職員の方々にはご理解ご協力を頂きましたことを深くお礼申し上げます。

昨年度を振り返りますと、全国的に複数の台風の襲来や、熊本震災など、自然災害の猛威を感じた年でありました。そんな中、当農協管内においては幸いにも台風被害なども最小限だったかと思います。

しかしながら、一部農産物においては深刻な病気は発生が見受けられ、次年度以降の作付けにおいて大きな課題を認識した年でもありました。

国政においてはＴＰＰ法案が衆議院を通過し、今後の農政動向によりいっそう注視しなくてはならない状況です。

このような中、今年の我々青年部の取組としましては、当別ブロック、西当別ブロックの両ブロックが合同でおこなえる事業を模索・検討、実施した1年でありました。

新人歓迎会を皮切りにソフトボール大会への合同チームの編成や練習。夏季に実施した視察研修。当青年部ポリシーブックの内容を検討・精査した学習会など、新規実施はもちろん、従来からの合同開催事業の内容の充実化等、ブロックの壁を乗り越えた事業展開をおこないました。今後の青年部活動おいても新たな試みの1歩を踏み出せた一年であったと思います。

先の見えない不安な情勢ではありますが、我々青年部は子供達や消費者に「食」の大切さを伝え、担い手として地域農業を守っていきたいと考えております。

最後になりますが、本年も皆さん方におかれましては、変わらぬご指導ご協力の程をお願い申し上げますとともに、豊穣の秋を迎えられますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせて頂きます。

新年を迎えて

北石狩農協女性部
部長　**久慈　貞子**

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族で輝かしい新年を迎えられた事を、心よりお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に対して、組合員のご家族、役職員の方々のご理解とご協力を頂き、深くお礼申し上げます。

昨年度は、農協改革や、ＴＰＰ大筋合意など、農業、ＪＡにとって大きな変化の波が押し寄せた1年となりました。しかしそのような中でも、女性部の集いを始め、組織であるＪＡ石狩地区女性協議会の行事への参加を通し、新たに女性組織の役割、又個々の意識向上の大切さを、そして女性のパワーの素晴らしさを実感する年になりました。

私たち女性部員には、健康な「食」と「農」の大切さを地域の消費者や次世代に伝えることや、ＪＡ経営、積極的な参加、参画で一体となり、取り組んでいくという重要な役割がありますが、私たち1人1人が健康で元気である事が大切だと考えます。

今後も様々な活動を通じて、女性としての感性を活かしながら今以上に結束して、活動していく所存です。

又この度、ＪＡ北海道女性協議会海外視察研修「ヨーロッパ（ドイツ）９日間の旅」に参加させて頂きました。目的は、酪農家（牛・養豚）・シュガー工場（ビート）などの農業視察と、芸術の絵画と彫刻に関する視察もさせて頂きました。ヨーロッパは、コレクションや、多様性と質において世界でも最も素晴らしく、詩人ゲーテ博物館やゴッホの絵画、古城街道、教会参拝など、歴史ある国を感じました。時期的にクリスマスマーケットも開催されとても楽しい充実した日を過ごし、参加した8名の皆様とも友達になり、再会を楽しみにしています。仲間が1人1人増えて活動にも活気が出てきます。

今回の海外研修で得た貴重な経験を皆様に伝え、今後の女性部活動に生かしていきたいと思います。大変ありがとうございました。

平成29年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
会長　飛田 稔章

組合員並びにＪＡ役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、８月中旬から相次いで上陸・接近した４つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところです。

今後とも、ＪＡグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とＪＡの発展に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のＴＰＰ離脱・日米二国間交渉の表明、ＥＵとのＥＰＡ交渉の動きなど、我が国の農業・ＪＡにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

ＪＡグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、ＪＡ経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、ＪＡグループ北海道は、第28回ＪＡ北海道大会のメインテーマである「北海道５５０万人と共に創る　力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところです。

昨年はＪＡグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、ＪＡグループ内外に実践状況を発信すべく、ＪＡ北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、ＪＡグループ北海道の英知を結集し、北海道５５０万人から信頼され、ともに歩んでいくＪＡグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

ＪＡグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・ＪＡに対する幅広い理解と共感を得るべく道民５５０万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにＪＡの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるよう努力して参ります。

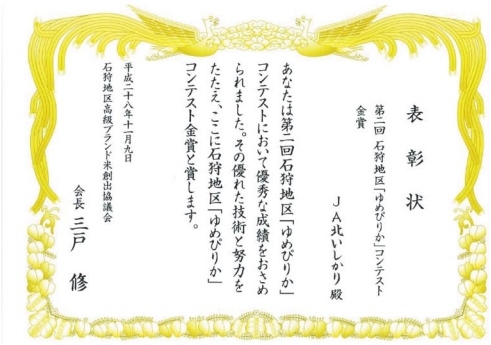
結びになりますが、今年の干支は丁酉(ひのととり)です。

一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことであります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

振り返って

4月13日、本所大ホールにて第17回通常総代会が開催され、議案は原案通りに全て可決されました。特別決議のＴＰＰから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議（案）についても、満場一致で承認されました。


表彰状

第二回　石狩地区「ゆめぴりか」コンテスト
金賞

ＪＡ北いしかり　殿

あなたは第二回石狩地区「ゆめぴりか」コンテストにおいて優秀な成績をおさめられました。その優れた技術と努力をたたえ、ここに石狩地区「ゆめぴりか」コンテスト金賞と賞します。

平成二十八年十月九日
石狩地区高級ブランド米創出協議会
会長　三戸　修

11月6日、北広島市のくるるの杜にて、第2回石狩地区「ゆめぴりか」コンテストが行われ、見事地区別金賞を受賞し、11月29日に全道コンテストに出場しました。最高金賞には日胆地区ＪＡびらとりが受賞しました。

青年部各地区では、小学生を対象とした食育活動として、農業体験学習を6月～12月まで行いました。内容は各地区で様々でしたが、子どもたちの一生懸命作業する姿が印象的でした。

8月26日、浜益事業所駐車場にて第2回浜益ミニ祭りが行われました。ミニ祭りでは、盆踊り・お楽しみ抽選会・カラオケ大会等が行われ、約500名の大勢の方が来場し、大きな盛り上がりを見せていました。

7月15日、ＪＡ北いしかり女性部は浜益善盛園にて、毎年恒例の女性部交流会を行いました。今年度は、部員54名が参加し、さくらんぼ狩り・ＢＢＱを楽しみながら交流を深めていました。

8月24日・25日の2日間野幌運動公園硬式野球場をメイン会場に第57回全道ＪＡ野球大会が行われ、15年ぶりの優勝を果たしました。

8月11日、当別駅前大通りにて「さん・産フェスタ2016」が行われ大勢の人が訪れました。今年度も天候に恵まれ、どのプログラムも予定通り進み大いに盛り上がりました。

2016年を

8月27日、西当別野菜集出荷施設にてひまわり収穫祭が開催されました。新鮮な野菜の販売コーナーや女性部の飲食コーナー、青年部縁日コーナー等にたくさんのお客さんが来場しました。

8月19日、本所職員駐車場にて第２回組合員感謝祭を行いました。感謝祭には約150名の方々が来場し組合員の皆さんは終始笑顔で感謝祭を楽しんでいました。

20年ぶりに当別町が新嘗祭献上米に選ばれ、稲村英樹さんの圃場で御田植祭（5月29日）・抜穂祭（9月24日）を行い、皇居で新嘗祭献穀献納式（10月27日）が執り行われゆめぴりか（5合）を献上致しました。

今年度も5月7日に直売所「はなポッケ」がオープンし、例年同様に平日営業（8月11日・12日）・収穫祭（10月2日）・感謝祭（11月13日）を行い、11月13日迄の土日の期間、営業を行いました。

昨年度から活動を開始した女性大学は、プリザーブドフラワー教室・陶芸教室・料理教室といった活動を行いました。来年度も様々な教室を開講する予定となっております。

11月3日、当別花卉生産組合では、花の消費拡大と当別町の花のPR、地元の人により花を身近に感じてもらうため今年もフラワーアレンジメント講習会を行いました。例年同様素敵な講習会となりました。

3月1日、当別町若葉の木屋路農園にてJAグループ北海道提供のテレビ番組「森崎博之のあぐり王国北海道」の撮影が行われ、道内1位の出荷量を誇る当別町のチューリップ・当JA加工品のPRを行いました。

JA北いしかり トピックス

子ども農業体験学習 ～青年部当別ブロック～

11月29日、青年部当別ブロックは、当別小学校5年生を対象に今年度4回目の農業体験学習を行いました。

これまでに大豆の播種体験・草取り体験・収穫脱穀体験を行い今回は、青年部員約20名が豆腐作りを指導しました。作業中、子ども達は青年部員からの失敗しないためのポイントを守りながら作業を行いました。

出来あがった豆腐は給食の時間に青年部員と一緒に食べ、1年を通しての農業体験学習を締めくくりました。

完成した豆腐との記念撮影

子ども農業体験学習 ～青年部西当別ブロック西当別地区～

12月15日、青年部西当別ブロック西当別地区は、西当別小学校3年生を対象に今年度3回目の子ども農業体験学習を行いました。

これまでに、田植え体験・脱穀体験を行い今回は「おにぎり集会」をテーマにお米新聞の発表会とおにぎり作りを行いました。

集会の最後には有澤ブロック長から「お米についてよく調べられていて感心した。私自身も知らない事もあったので勉強になった。調べることも大切だが、田植え・脱穀を体験して感じたことを大切にしてほしい」と話し、1年を通しての農業体験学習を締めくくりました。

おにぎり作りの様子

青年部本部学習会

12月9日、北農ビルにて青年部学習会を行いました。

青年部本部は毎年、青年部が学びたいこと・聞きたいことについての学習会を行っており、今年は「青年部は必要か!?」をテーマに中央会石青協事務局浅野健次郎氏が講師を務めました。

学習会では、講師の浅野氏が「JA青年部という組織は全国の中でも北海道は特に横の連携が取れている。端から見ていてとても魅力的でうらやましく思う。」と話していました。

その後、グループに分かれ当青年部のPB（ポリシーブック）を読み返し、今後の青年部のあり方について討議し、発表を行いました。

学習会終了後には、部員交流会兼、中央会若手職員との交流会と評して懇談会を行い今後の活動・農業情勢について意見交換が行われ交流を深めていました。

懇談会の様子

学習会の様子

お米のPR販売 ～YES!clean生産部会～

12月3日、北石狩ＹＥＳ！ｃｌｅａｎ生産部会は、札幌市北区篠路のマルコストアー本店・東苗穂店2ヶ所でＹＥＳ！ｃｌｅａｎ米のＰＲ販売を行いました。

参加した11名の部員は、減農薬栽培米と強調し安全なお米であることをＰＲしました。

2店舗合計で5kg袋10kg袋合わせて約２５０袋を売り上げました。

ＹＥＳ！ｃｌｅａｎ生産部会は、今後もこのような活動を通して、安全・安心な良質米をＰＲしていきます。

ＰＲ販売行う部員

女性大学～料理教室～

12月3日、白樺コミュニティーセンターにて女性大学を開講し、「料理教室」を行い32名が参加しました。

料理教室には大興産業(株)の佃氏を講師として迎え入れ、ゆずちらし寿司・ヨーグルト風味の牛乳かん・カレーコールスロー・酢タミナ酢ーぷの４品目を作りました。

どの料理も、簡単に美味しく作ることができ、参加者は満足していました。

食事の様子

新しい年を迎えて

石狩農業改良普及センター石狩北部支所
支所長 増子 優子

新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成29年の新春をご家族とともに迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対し、皆様には特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の作況を振り返ってみますと、春先の気温が高く融雪が進んだことから、秋まき小麦の起生期は平年より10日早まったほか、各作物の春作業は順調なスタートを切ることができました。

しかし、6月以降の低温・日照不足に加え記録的な降雨に見舞われたことから、平年より進んでいた水稲・豆類などの生育は7月を境に遅れに転じました。

8月中・下旬には、台風7号・9号・11号が相次いで北海道に上陸し、9月に入っても台風から変わった低気圧による降雨やほ場条件の悪化が著しく、収穫作業が滞ったほ場も多く見られました。

このような厳しい気象条件下にあっても確かな実りが実現できていることは、ご家族や地域が力を合わせ、弛まぬ努力と長年にわたる基盤整備や土づくりなどの取り組み、栽培管理技術の高さを現す結果とあらためて敬意を表します。

昨年は、秋まき小麦の作付け割合が高いことによる作付け体系の脆弱性に対応するため、ＪＡと協力して「北石狩型輪作体系推進ＷＧ」を立上げ、「適正な輪作で作物の健全な生育を取り戻しましょう！」のスローガンの元で、課題解決に向けた取組みを始めました。

安定感のある北石狩型輪作モデルの構築に向けて、農業者の皆様や関係機関と一丸となって推進してまいります。

国内外の農業情勢がめまぐるしく変化し、先行きが不透明な状況ではありますが、普及センターとしましては、今後とも皆さまのさらなるお力添えもいただきながら普及活動を進め、基本となる生産力のさらなる向上とともに多様な担い手の確保や女性の能力発揮など、地域力の維持・向上と農業振興を目指します。

結びに、本年が輝かしく豊かな年となると共に、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成28年度

主要野菜の生育出荷状況

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

総　括

野　菜

・4～5月はおおむね好天に恵まれ、耕起作業やは種・定植作業は順調に進んだ。
・6月に入ると中旬まで低温寡照により、生育や管理作業に遅延が生じたものの、その後日射量の増加により生育は回復傾向となった。
・8月中下旬には高温多雨が原因の病害により、一部で品質や出荷量の低下が見られた。
・市況は8月まではだいこんやたまねぎ等の一部の品目は高値傾向となったが、多くの品目で平年並みに推移した。しかし、8月中旬以降は道東方面を中心に上陸した台風の影響で、ほ場での被害や交通網の寸断等が発生し、さらに本州方面を中心とした寡照の影響により市況は高値傾向で推移した。

作物名（主な品種）	作型	生育概況、障害、生産、出荷、品質、価格等
アスパラガス（ｳｪﾙｶﾑ、ｶﾞｲﾝﾘﾑ）	露地	共選は5月6日(昨年5月7日)から開始された。5月2日に降霜害を受けたものの、その後の好天と適度な降雨もあり、5月4半旬頃まで出荷量が増大した。しかし、5半旬以降の出荷量は急に低下し、S規格の割合が目立つようになった。また、強風等による曲がりも散見された。6月中旬のまとまった降雨後、出荷量は若干回復し、価格はおおむね高値で推移した。
にんじん（向陽２号、晩抽天翔）	春まき及び晩春まき	は種は4月20日から開始され、初期生育は順調であった。5月16日の強風により石狩市の春まき栽培で、被覆資材を除去した一部ほ場で枯れ上がり等の被害が発生したが、おおむね順調に生育した。6月中旬には低温寡照と多雨により生育やは種作業の遅れが生じ、その後の生育や出荷量にも影響を及ぼした。8月中下旬の高温多雨の影響で軟腐病の発生が多い作型もあった。全国的な品薄の影響で、価格はおおむね高単価で推移した。
かぼちゃ（えびす、栗五郎、栗将軍）	露地マルチ	5月上旬にポット苗定植が開始された。5月16日の強風によりべたがけをしていないほ場では、一部で葉の痛みがみられたが、概ね順調に生育した。6月中旬の低温寡照・多雨により、露地（ポリ鉢育苗）作型で初期生育が緩慢となり、出荷が遅れた。草勢低下と高温乾燥の影響でうどんこ病が多発し、葉が枯れ上がったために日焼け果が目立った。一部で果実斑点細菌病の発生が確認されたが、全体的に突起果は少なかった。全体的な小玉傾向と着果不足が影響し、出荷量は前年の約8割程度となった。また、一部でキュアリング不足と過熟等の影響により、出荷物の腐れが見られた。
キャベツ（おきな、湖月）	露 地	春まき作型では育苗時の高温多照により、かん水が多くなる傾向にあったため、徒長やN欠乏症状が見られた。移植作業は5月1日から開始された。移植後も強風や少雨の影響で初期生育はやや緩慢だったが、その後回復した。6月中旬の寡照・多雨により、収穫は遅れた。また、一部の滞水したほ場では湿害による生育遅延が生じた。晩春～初夏まき作型では、8月中下旬の多雨で軟腐病が散見された。また、コナガ等の鱗翅目害虫による食害も散見された。
ブロッコリー（ﾋﾟｸｾﾙ、ｽﾀｰﾗｳﾝﾄﾞ）	露 地 春まき 晩春まき 初夏まき	5月上旬に定植作業が開始された。6月中旬には低温寡照・多雨の気象条件が続き生育が緩慢になり定植や管理作業が実施できない状況が続いた。その後高温と多雨により細菌性病害の発生が見られ、8月～9月中旬までの出荷量は少ない傾向となった。価格はやや高値で推移した。
果　樹		・おうとう：「佐藤錦」の満開期で5/11(平年対比早3日) となった。その後低温で生育は鈍化、収穫始めは7/5 (平年対比遅1日) とやや遅れ、着果は平年よりやや少なかった。肥大期の適度な降雨により肥大は良かった。南陽の着色がやや鈍かった。病害は比較的少なかったが、一部園地でミバエの発生が見られた。収穫後半にショウジョウバエの発生が見られた。 ・りんご：おうとう同様に、「つがる」で満開期5/21(平年対比早5日) となったが、その後生育は停滞、7月以降天候の回復により肥大は進み、収穫は平年より5日程度早く、果実肥大は良かった。病害虫では、腐らん病、黒点病の発生が目立った。

花　卉

・4～5月は好天に恵まれ、は種・定植作業は順調に進んだ。
・6月に入ると中旬まで低温・寡照により、生育及び開花は緩慢になり出荷量も少なく管理作業に遅延が生じた。また6月中の寡照・多湿により病害の発生が見受けられた。
・8月に入って急激に気温が高く推移したため、生育が一気に進み、8月上旬～下旬までが全体的に出荷ピークとなった。そのため、例年より生育が前進傾向となり、9月以降の出荷が少なかった。
・また、8月中下旬には高温多雨によって多湿を原因とする病害発生が見受けられた。年間を通して収量、品質に影響が出るような病害虫は少なく、平年並の発生であった。道産花きの市況は、昨年の高単価と比較するとやや安いが、春から8月にかけて平年並かやや高く推移した。8月中旬からは入荷量も多く、安価であった。

作物名 （主な品種）	作型	生育概況、障害、生産、出荷、品質、価格等
オリエンタルユリ ｵﾘｴﾝﾀﾙﾕﾘ （ｼﾍﾞﾘｱ、ｿﾙﾎﾞﾝﾇ、ｼｰﾗ、等） （2,059a）	越年（加温、無加温） 6～7月切り	出荷は越年作型で6月3日から始まった。新球については6/24から出荷された。（平年6月中旬～）ﾌﾟﾚﾙｰﾃｨﾝｸﾞ処理（ＪＡ施設）は平年並の6月3日より開始。6月の寡照・低温により生育は緩慢であり出荷量も少なかったが、8月からの好天により一気に生育が進み8月中～下旬までが出荷ピークとなった。例年より約10～14日程早く、9月以降の出荷も前進傾向となった。病害虫に関しては、6月は多湿条件が続いたため疫病や軟腐病が一部発生した。また本年は「ﾌﾟﾗﾝﾀｰｺﾞ（ｳｲﾙｽ病）」の発生が目立った。
ﾃﾞﾙﾌｨﾆｳﾑ （ｴﾗｰﾀﾑ系）ﾊﾟﾙﾌｪ、ｵｰﾛﾗ、（ｼﾈﾝｼｽ系）みずか、さくらひめ （247a）	越年（加温、無加温） 6～7月切り 5～8月定植 夏秋切り	越年株（加温）の1番花出荷は5月17日から始まり、無加温作型は6月上旬から始まった（例年並）。6月からの寡照と低温により生育は緩慢気味となり、多湿条件が続いたことからうどんこ病の発生や一部品種で芯止まり（ﾁｯﾌﾟﾊﾞｰﾝ）が見られた。新植の出荷は7月10日から始まった（例年7月中旬）。7月は夜温が低く推移したため、花色も良く花落ちも少なく品質は良好であったが、8月中～下旬は高温および降雨の影響により葉色も薄く、一部花落ちも見受けられた。
ｶｰﾈｰｼｮﾝ LPﾊﾞｰﾊﾞﾗ ﾋﾟﾝｸﾋﾞｼﾞｭｰ等 （221a）	越年 （加温） 6月切り 新苗 8～11月切り	新苗の定植は3月下旬～始まり、5月上旬で終了（例年並）。初期生育は順調で、越年株（加温）は6月上旬から例年通り出荷が始まったが、6月の寡照・低温により生育は停滞したため、6月・7月の出荷量は品薄状態となった。また、6月の低温多湿時に黒点病の発生が見られたとともに、寡照により茎が細く軟弱傾向となった。しかし、8月の好天・高温により開花は一気に進み、出荷量が急激に増えて8月上旬～20日が出荷ピークになった。8月は急に生育が前進傾向になったため短茎のものがみられ、一部高温により葉先枯れ・ﾌﾞﾗｽﾁﾝｸﾞ（蕾が生育を停止・枯死）も見受けられた。ｽﾘｯﾌﾟｽ類の発生も多かった。9月になると品質は回復したが、8月に出荷が前倒しになった分、（彼岸出荷も二週間早まった分）量は少なかった。
宿根かすみそう ﾍﾞｰﾙｽﾀｰ ｽﾉｰﾍﾞﾙ （220a）	越年株 春夏切り 新苗 夏秋切り	越年株の加温作型で4月21日から出荷開始。無加温作型での出荷は6月8日から開始（例年並）、越冬状態が例年より劣った圃場が多く（根雪が遅く一度土壌が凍結したため）春に株枯れが見受けられた。新苗の出荷は7月18日から始まり（例年7月2～3半旬）8月の好天により生育が進み、8月上旬～中旬がピークとなった。また、他の品目同様に8月に前倒し出荷となったため、8月下旬～9月の出荷量が減少した。目立った病害虫は見られず、品質は良かった。
その他 ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ（124a） ｶﾗｰ（160a） ﾊﾞﾗ（116a） **花木**（2,611a） （当別合計 5,915a）	5月定植 8～9月切り	・トルコギキョウ：定植は平年並みに5月より順次行われたが、6～7月の寡照・低温で生育が緩慢であったが、8月の好天により生育が一気に進み8月上旬～中旬まで出荷が集中した。（9月分も前倒し傾向になった）。そのため8月は短茎傾向、ﾌﾞﾗｽﾁﾝｸﾞおよび多雨期に灰色カビ病が見受けられた。 ・カラー：4月より定植が開始されて6月2日～出荷開始された（例年並）8月下旬の多雨時に軟腐病の発生が見受けられたが、全般的に品質は良かった。 ・バラ：4月10日から出荷開始(昨年4月9日)、品質は平年並 ・キイチゴ：ハウスで6月18日、露地作型で7月8日から出荷開始（例年並）8月下旬の台風により「根腐れ」が多発した。

なんでも掲示板

■今年は自然災害が少ない年になりますように。
（ペンネーム　ひなひなさん）

■農協の皆さん今年もお世話になりました。年末になって感じる事で、今更人には聞けない疑問。例えば農協の金融機関から機械屋さんなどに支払う時、お金はどのようにそちらの方に行くのか。夫に聞くと「そうだな。空を飛んで行くんだ」「そうだ、そうかも」と私。そばに居た息子は「誰かがお金を背負って走って行くんだ。」変な家族。
（ペンネーム　よもぎもちさん）

■さむい日がつづきます。朝の温度計をみるとマイナス２・マイナス３になっていることがあります。
（ペンネーム　パパさん）

■風のつよい日があって雪投げをしていて、投げた雪が風で飛ばされていきます。
（ペンネーム　足さん）

■今年も少なくなり、秋に雪が早く降って寒い日が続きました。風を引かない様にして新しい年を迎えたいと思っています。
（当別町　藤山瑛子さん）

■年賀状を書き、大掃除・来客のお泊り準備・その他何かと多忙な年末。年齢を重ねる毎に体力が落ちてきていることを自覚しつつも、こうして行事を熟していけることに感謝しています。３人の子供夫婦・７人の孫たちと、又、笑顔で新年を迎えられそうです。ありがたいです。
（当別町　岩田美智子さん）

■今年も後わずかとなりました。新しい年を迎えられそうです。健康で過ごせたことを感謝します！
（当別町　藤野哲雄さん）

■いつも楽しみにしています。
（ペンネーム　ポチさん）

■クロスワードパズルを毎回楽しみにしています。
（当別町　山田恵美子さん）

■いつも一人でやっているクロスワードパズルを子どもと一緒にやってみました。言葉の勉強になっていいですね。
（ペンネーム　ポコポコさん）

■いよいよ本格的に冬となりました。夜、窓の外を眺めて、雪が降っていると、「あぁ、明日朝は除雪かぁ……」とガッカリします。雪さえなければ良いところなんですけどねぇ。また今年も頑張って乗り切るか。
（ペンネーム　普通のおばあちゃん）

■今年もようやく根雪の様ですクリスマスに年越しがもうすぐそこに。今年としてはほっとした年になりました。来年がとても楽しみと今思って居ります。
（ペンネーム　シエモア文明）

■朝めちゃくちゃ寒いです。我が家のカニサボテン（室内置）にフードをかぶせたかいがあって、全開です。
（神奈川県　藤井淑江さん）

■年末年始は、孫の顔を見ることになります。ずいぶん成長して、重くなったのでしょうね。今から楽しみです。
（当別町　柴田義江さん）

■１２月中いよいようれしいこと又楽しいこともありますネ。でも出費が多くなりますので大変な気もします。体に気をつけ良い年をむかえたいでーす。
（当別町　佐々木ミヨ子さん）

■まわりが田・畑が多いのでちょっとだけ、身近になった農業・酪農ですがまだまだ不思議が沢山あります。牧草地が沢山あるのに、牛がいない。どこにいるの～牛さん！
（当別町　小松千代子さん）

■皆様、健康で良い年をお迎え下さい。
（当別町　戸来俊子さん）

■早いもので申年が去り酉年を迎える暮と成りました。又、年齢が増し、体力が低下と言った反比例状態に成りますが無理せず大空に羽ばたく１年にしたいものです。
（ペンネーム　雪だるまさん）

■レンジでかんたんラーメンとっても美味しかったです。今度は黒豚カレーを食べてみたいと思います。話は変わりますが、これからツルツル路面になります。皆さんもケガに気を付けてくださいね。良い新年を迎えられますように。
（石狩市　永澤節子さん）

■来年こそ災害のない年になりますよう皆さん、良い年をお迎えください。又、「ＪＡ北いしかり」の広報誌１年間楽しませてもらいませていただきました。来年も手元に届くのを楽しみにしています。
（当別町　阿部準子さん）

■１年は本当に早いですね。今年は、夏・秋野菜が不作でした。来年こそは…皆さん良いお年を
（ペンネーム　ミセスバーバさん）

ここに寄せられたお便りの住所・氏名・年齢などの個人情報は、この広報誌以外で使用することはありません。

クロスワードパズル

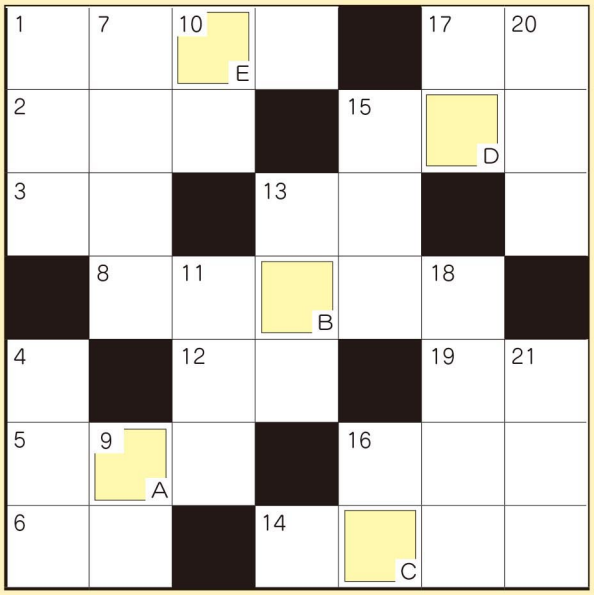
二重マスの文字を
A～Eの順に並べてできる
言葉はなんでしょうか？

タテのカギ

1 ……うそから出た──
4 ……1歳違いの兄弟姉妹のこと
7 ……顔の整った人が好みなの
9 ……矢をつがえます
10 ……暖炉にくべる物
11 ……煮物をじっくり煮込むときの火加減
13 ……会社の運転── を調達した
15 ……ワカサギ釣りの際に穴を開けることも
16 ……酔っぱらいが巻きます
17 ……長寿を象徴する鳥
18 ……駅の── で新聞を買った
20 ……ニコリと笑うとペコリとへこむ
21 ……役者が観客に見せるもの

ヨコのカギ

1 ……「福は内」と言いつつ行います
2 ……こつこつと──よく作業を続けた
3 ……早起きは三文の──
5 ……攻撃の反対語
6 ……分別して回収に出します
8 ……人間の犬歯の別名
12 ……進化──。感情──
13 ……海水から作れる調味料
14 ……よそ行きではない服装
15 ……ワインボトルの栓によく使われる素材
16 ……文末に付ける「。」のこと
17 ……仙人はこれを手にした姿で描かれることが多い
19 ……生涯で一番高い買い物だとよくいわれます



12月号の答え・当選者

A デ　B ゾ　C メ　D シ　E キ

今回28名の応募の中から、抽選の結果次の3名の方々が当選しました。おめでとうございます。
当別町　目黒敏子
当別町　山田恵美子
ペンネーム　ポコポコさん

郵便はがき
52
〒061-0295
石狩郡当別町
錦町53番地57
JA北いしかり
企画管理課
行

①パズルのこたえ
②〒・住所・**電話番号**
③氏　　名
④年　　齢
⑤意見や要望、身近にあった出来事などの情報をお寄せ下さい。紹介させていただきます。

【応募方法】
- 氏名や住所を伏せたい場合は、その旨ご記入願います。
- ファックス・Eメールによる応募も受付いたします。

FAX：(0133)22-2615
Eメールアドレス：kanri03@ja-kitaishikari.or.jp

【締切日】
平成29年1月23日（月）到着分まで

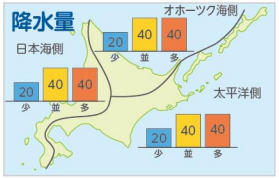
【賞　品】
正解者の中から抽選で3名の方へ約2000円相当の当JA加工品の詰め合わせをさしあげます。

北海道地方の気温・降水量2か月予報

月別の予想

1月

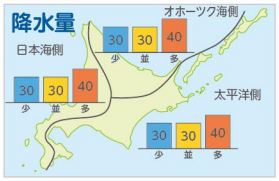
冬型の気圧配置は平年より弱く、低気圧や気圧の谷の影響を受けやすい見込みです。
日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。
太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。



平年の日数	晴れ	降水
札幌(日本海側)	11.6	18.1
網走(オホーツク海側)	15.4	12.9
釧路(太平洋側)	23.4	5.0

2月

冬型の気圧配置の強さは、ほぼ平年と同様の見込みです。
日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。
オホーツク海側・太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。



平年の日数	晴れ	降水
札幌(日本海側)	12.1	16.0
網走(オホーツク海側)	17.1	8.6
釧路(太平洋側)	21.5	4.0

(晴れ日数：日照率が40%以上の日数 降水日数：日降水量が1mm 以上の日数)

理事会報告

〈第12回理事会〉
12月14日午後3時00分より、本所第1会議室にて開催されました。

Ⅰ．監事監査報告（第3四半期定期監査）

Ⅱ．議事

議案第1号　「全国監査機構　期中監査」に係る回答について
議案第2号　要対策組合員に対する貸付について
議案第3号　組合員の出資持分譲渡並びに出資口数の減少について
議案第4号　年末手当の支給について

Ⅲ．報告事項

（1）各事業報告および財務報告並びに仮決算報告（平成28年11月末）
（2）残高確認実施要領の制定について
（3）組合員の加入・脱退について
（4）（仮称）「北欧の風　道の駅　とうべつ」の管理運営主体設立に係る中間報告について

Ⅳ．協議事項

（1）株式会社ｔｏｂｅ取締役の選出について

組合員資格確認のお願い

当ＪＡ定款規程により、組合員加入申込時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届けていただくことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当ＪＡ本所・企画管理課、または各支所・管理金融課および事業所へお申し出いただきますようお願い致します。

当組合員の組合員資格

○正組合員資格○

（1）３０アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

（2）1年のうち１２０日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

（3）農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が３００人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が３億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

○准組合員資格○

（1）この組合の地区内に住所有する個人でこの組合の事業を利用することが適当と認められるもの

（2）この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

（3）この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

公的年金だけでは不安!

老後の生活資金の準備を始めたい方へ

予定利率変動型年金共済

ライフロード

ご加入できる年齢
18歳～65歳
一時払18歳～74歳

豊かなセカンドライフのための備えは、早いうちからはじめることで差がつきます。

ご存知ですか? 老後に必要な生活資金は?

ご夫婦2人に必要な
1か月あたりの生活費は
平均で約25.0万円となっています。

1か月あたりの公的年金試算例 約18.8万円※1

毎月約6.2万円の不足

1か月あたりの老後生活費
(世帯主が60歳以上の高齢者無職世帯かつ2人以上の世帯)約25.0万円※2

※1 試算の前提●夫が厚生年金に加入、妻が国民年金に加入、夫婦ともに健在の場合です。●国民の年金の受給額は35年納付の場合です。●厚生年金の受給額は加入期間は35年、平均標準報酬月額30万円、年間の標準賞与額を標準報酬月額の3.6か月分として算出しています。また、従前額保障は考慮していません。年金開始は65歳からの場合です。●厚生年金の加給年金額、国民年金の振替加算額は含めていません。●年金単価はすべて平成26年4月時点の価格です。●平成28年1月末現在の法令等に基づき記載しています。

※2 総務省「家計調査(家計収支編、詳細結果表)」(平成25年)

(上記の前提においてJA共済連試算)

例えば…豊かなセカンドライフのために、月々どのくらい必要とお考えですか?

月々の必要資産(生活費+α)	20年間(60～80歳)の合計
35万円	8,400万円
30万円	7,200万円
25万円	6,000万円

老後の資金には、かなりの額を準備しなければなりません。

確実に受け取れる
安心に増える楽しみを
プラス

JAの予定利率変動型年金共済「ライフロード」なら、安心・確実に老後の資金づくりができます。

予定利率 6年目以降

※平成28年度適用の予定利率であり、毎年見直されます。

1.65%
平成28年度適用の予定利率

POINT

予定利率変動型年金共済
「ライフロード」の4つのポイント

POINT 01

年金額の増加が期待でき、一度増加した年金額は減りません。

この共済は、契約当初5年間は予定利率を固定し、6年目以降毎年予定利率を見直す予定利率変動型の年金共済です。一度増加した年金額はその後予定利率が下がっても減らないため、安心・確実に年金をお受取りになれます。老後の必要生活費の確保はもちろん、年金額が増える楽しみもあります。

※予定利率が最低保証予定利率を上回る水準が非常に低い場合、最低保証年金額が増加しない場合があります。

POINT 02

積立て感覚で老後の生活資金が手軽に準備できます。

月々1万円、月々2万円といった積立て感覚の共済掛金でご加入いただけます。
「月払」のほか「年払」や「一時払」もご用意しています。
ライフスタイルに合わせてお選びください。

※共済掛金は月々3千円からご加入いただけますが、最低保証年金額が6万円未満となる場合はお引受けできません。

POINT 03

一定の条件を満たすことにより、「個人年金保険料控除」が受けられます。

一定の条件を満たし、税制適格特約を付加している場合は、他の保険料控除とは別枠で、所得税で最高4万円、住民税で最高2.8万円までの所得控除が受けられます。

※記載の税務のお取扱いについては、平成28年1月末現在の法令等に基づくもので、将来を保証するものではありません。変更された場合には、変更後のお取扱いの内容が適用されますのでご注意ください。個別のお取扱いについては所轄の税務署にご確認ください。

POINT 04

簡単な告知でお申込みできます。

ご契約にあたり医師の診査は不要です。
健康状態の告知は下の2項目のみと簡単なので手軽にお申込みいただけます。

つぎの項目の両方が「いいえ」の場合にご加入いただけます。

- 現在、病気や外傷で、安静療養中ですか?
  (安静療養中とは、病気や外傷により、仕事や家事ができない状態で、入院中または家庭で療養していることをいいます。)
- 今後、入院または手術の予定がありますか?
  (医師により入院または手術をすすめられている場合や、医師と相談している場合を含みます。)

※両方が「いいえ」の場合でも、ご職業などによってご加入いただけない場合もあります。

◀ 詳細は、裏面をご覧ください

予定利率変動型年金共済

ライフロード

ライフプランにあわせて選べる
年金共済「ライフロード」で、セカンドライフに確かなゆとりを。

JA共済

定期年金タイプ

ご契約例

25歳加入・60歳払込終了・60歳年金開始

年金支払期間10年　税制適格特約付

共済掛金(月払)　1万円

(払込共済掛金累計額　420万円)

一定期間重点的に年金を準備したい方へ

POINT

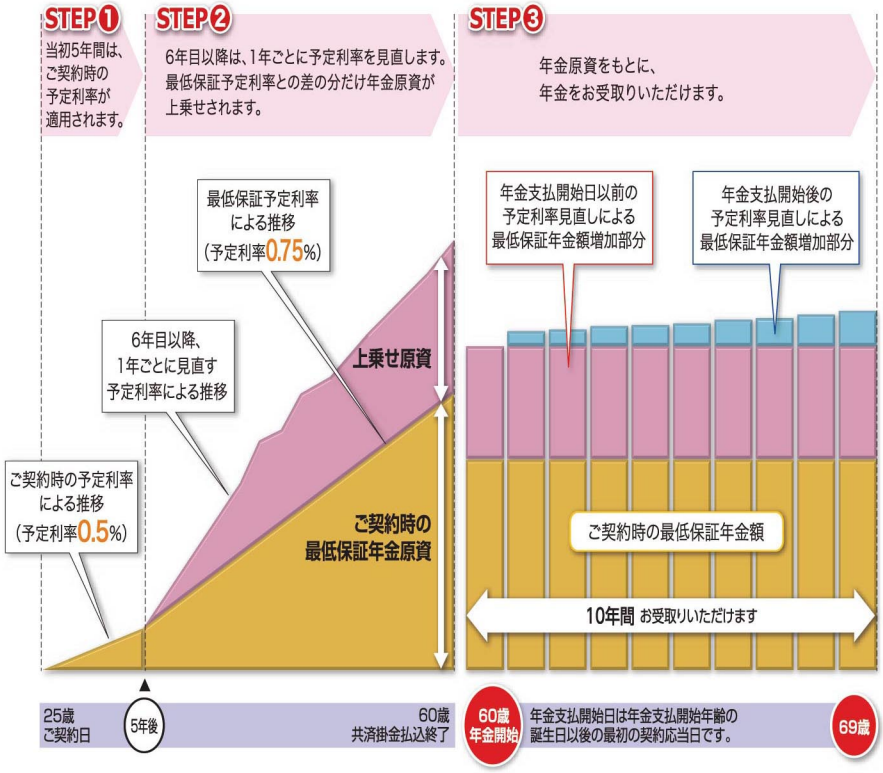
5年※、10年、15年と、一定期間にわたり年金をお受取りいただけるタイプです。
公的年金受給開始までのつなぎ年金として、また、
60歳を過ぎてローンの支払がある場合などにも頼もしい年金です。

※税制適格特約付の場合、5年タイプはお選びいただけません。

STEP❶ 当初5年間は、ご契約時の予定利率が適用されます。

STEP❷ 6年目以降は、1年ごとに予定利率を見直します。最低保証予定利率との差の分だけ年金原資が上乗せされます。

STEP❸ 年金原資をもとに、年金をお受取りいただけます。



当初5年間の予定利率 0.5%

6年目以降の最低保証予定利率 0.75%

(平成28年4月現在)

この予定利率は、共済掛金の払込方法を年払もしくは月払とした場合の予定利率となります。
ご契約時の予定利率は、毎年(共済掛金の払込方法が一時払いの場合は毎月)異なります。したがってご契約時期によって適用される予定利率が異なり、最低保証年金額が変更となる場合がありますので、JAまでご確認ください。

ご契約時の最低保証年金額

当初5年間の予定利率	6年目以降の最低保証予定利率		60歳時の最低保証年金額	年金受取総額
0.5%	0.75%	男性	456,287円	4,562,870円
		女性	456,200円	4,562,000円

予定利率の変動に応じた年金額の試算

予定利率			60歳時の年金額	年金受取総額
当初5年間	6年目以降			
0.5%	1.65%の場合(平成28年度適用の予定利率)	男性	532,580円	5,487,353円
		女性	532,295円	5,480,891円
	1.95%の場合(平成28年度適用の予定利率+0.3%	男性	561,003円	5,837,892円
		女性	560,654円	5,829,343円

※年金受取総額は年金支払期間中に全期間毎年年金をお受取りされた場合の受取総額を試算しています。
※上記の表はあくまでも試算であり、将来の年金のお受取り額をお約束するものではありません。

(平成28年4月現在)

●お問い合わせは

JA北いしかり

本　　所　共　済　課　☎0133-23-2530
西当別支所　管理金融課　☎0133-26-2111
厚 田 支 所　管理金融課　☎0133-77-2311

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

16019990040

共済掛金の払込方法は、上記の「月払」のほかに、年に一度お払込みいただく「年払」や、ご契約時に一括してお払込みいただく「一時払」もご用意しております。

JA北いしかり 葬祭事業

信頼の葬儀をご提案・サポート致します

- お通夜・告別式、葬儀に関する相談
- 仏壇・お墓・法事に関する相談
- 供花・供物全般

お問い合わせ

本所資材店舗
☎0133-23-2249
24時間専用電話
☎0133-22-2000
担当＝内澤
携帯 080-5584-5543

1 JANUARY 2017 No.213

発行　北石狩農業協同組合
編集　企画管理部 企画管理課
住所　〒061-0295 石狩郡当別町錦町53番地57
電話　0133-23-2530
ホームページアドレス　http://www.ja-kitaishikari.or.jp
Eメールアドレス　kanri03@ja-kitaishikari.or.jp

KITA ISHIKARI PUBLICATION